

■網走かわまちづくり検討会

■網走かわまちづくり検討会の開催状況

網走かわまちづくり計画に対して、網走市内で様々な活動をされている方々からご意見をいただく場として、網走市が「網走かわまちづくり検討会」を設置しました。

現在までの開催状況は以下の通りです。

開催年月日	検討会
平成 27 年 10 月 30 日(金)開催	第 1 回 網走かわまちづくり検討会
平成 27 年 12 月 10 日(木)開催	現地見学会
平成 27 年 12 月 21 日(月)開催	第 2 回 網走かわまちづくり検討会
平成 28 年 01 月 29 日(金)開催	第 3 回 網走かわまちづくり検討会
平成 29 年 02 月 28 日(火)開催	第 4 回 網走かわまちづくり検討会
平成 30 年 01 月 16 日(火)開催	第 5 回 網走かわまちづくり検討会
平成 30 年 07 月 20 日(金)開催	第 6 回 網走かわまちづくり検討会(現地見学会)
平成 31 年 01 月 15 日(火)開催	第 7 回 網走かわまちづくり検討会

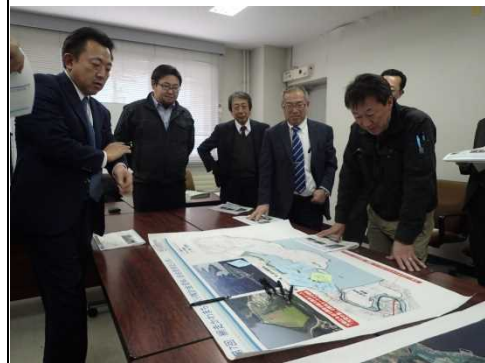
■第 7 回 網走かわまちづくり検討会

日時：平成 31 年 1 月 15 日(火) 13:30～15:30

場所：網走市役所西庁舎 2 階会議室

議事次第：

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - 1) 前回までの討議内容の確認
 - 2) ハード施策とソフト施策の進捗状況
 - 3) 河川敷地占用許可の特例制度
 - 4) 散策路等へのネーミングについて
 - 5) 網走湖周辺を含めた全体利活用構想の検討
4. その他
5. 閉会



第 7 回 網走かわまちづくり検討会の様子

■委員名簿

網走市 企画総務部 秋葉 孝博	網走市 建設港湾部 阿部 昌和	網走青年会議所 五十嵐 台樹	網走市 建設港湾部 石川 裕将
網走ちゃんぼん研究会 石原 基 (欠席)	網走サイクリング協会 井戸 達也	網走市観光協会 井上 範一	Forever 網走 上原 桃子 (欠席)
網走市 観光商工部 大西 広幸	網走青年団体連合会 北村 彰浩	網走セーリング協会 榊原 宏洋	網走商工会議所 佐藤 進介 (欠席)
みなとまちづくりマイスター 杉本 匡規 (委員長)	網走市 建設港湾部 高橋 勉	網走市 観光商工部 田口 徹	網走市 建設港湾部 立花 学
道東観光開発(株) 松島 昇 (欠席)	網走市 社会教育部 吉村 学		

(五十音順、敬称略)

第7回網走かわまちづくり検討会 議事要旨

日 時：平成31年1月15日(火) 13:30～15:30

場 所：網走市役所西庁舎2階会議室

出席者：秋葉委員、阿部委員、五十嵐委員、石川委員、井戸委員、井上委員、大西委員、北村委員、
榊原委員、杉本委員、高橋委員、田口委員、立花委員、吉村委員 計14名

議事要旨

1. 開会

〈会長挨拶〉

事業を立ち上げると色々な難関が待ち受けているものだが、真剣に関わっていくと必ず事業の広がりや発展を帯びてくる。

「かわまちづくり」は、網走市の歴史を作ってきた網走川を中心に再度まちづくりをしていくという試みであり、事業の発展や広がりという意味で非常に可能性を帯びており、網走市が実施していく事業の中で最たるものだと思っている。

各委員には是非とも事業に積極的に関わっていただくとともに、本日の検討会は忌憚のない意見を交わしながら、より発展性のあるものにしていきたい。

2. 議事

(1) 前回までの討議内容の確認

これまでの検討会・現地見学会の開催状況、第5回網走かわまちづくり検討会・第6回網走かわまちづくり検討会(現地見学会)での主な意見について、事務局(網走開建)から説明を行い、各委員から了承を得た。

(2) ハード施策とソフト施策の進捗状況

「網走かわまちづくり」に関連するハード・ソフト施策の進捗状況・整備工程、網走川新橋下流の河川管理用通路の改良と利活用事例、ホームページ・SNSによる広報事例について、事務局(網走市、網走開建)から説明を行い、各委員から了承を得た。

また、事務局(網走市)から、網走市が整備する網走橋上下流緑地へのアクセス路を「網走かわまちづくり計画」に明記する旨の提案があり、各委員から了承を得た。

(3) 河川敷地占用許可の特例制度

「網走かわまちづくり」に関連する河川敷地占用許可の特例制度の概要、新潟県新潟市を流れる信濃川の「やすらぎ堤」における水辺空間の利活用事例と効果・課題、網走川における都市・地域再生等利用区域のイメージについて、事務局(網走開建)から説明を行い、委員から以下の発言があった。

- ・河川敷地占用許可の特例制度については、昨年度の検討会でも事務局から報告されているが、活用を希望する事業者がなかなか出てこないのが現状であり、これから整備をしていけば可能性が出てくるかもしれない。
- ・「やすらぎ堤」の事例報告があったが、新潟は水辺利用の盛んな土地であり、網走と比べて都市の人口規模が全く違うので、網走と地域性が類似した事例であれば参考になると思う。
- ・事業者がどのように構成されているのか、包括連携を結んでいるか等の詳細がわかるのであれば、今後報告してほしい。

(4) 散策路等へのネーミングについて

「網走かわまちづくり」に関連する散策路のネーミングの検討内容・スケジュールについて、事務局(網走市)から説明を行い、委員から以下の発言があった。

- ・広島県の「しまなみ海道」のように一発で認知されるような良いネーミングになればと思う。
- ・全体のネーミングを決めて、網走川沿いの雰囲気やシーンに応じて分けて付けるのもよいかもしれない。
- ・ハード整備の完了が数年先とはいえ現在整備を実施しているので、第一段階として、全体的な川筋の散策路に対して総称を付け、個別ルートのネーミングはその後でよいと思う。
- ・公募する場合でもネーミングする際の条件をしっかりと考えて、イメージできるキーワードや文言を入れてもらう方が幅広く意見が出てくると思う。
- ・これからの子どもたちに自分たちの町・地域に愛着を持ってもらうために、学習の一環として小学生に網走川の歴史や「かわまちづくり」等について学習してもらい、その上でネーミングを公募するのも一つの案だと思う。
- ・ファミリーサイクリングに参加する子どもからネーミングを募集してもよいかもしれない。
- ・公募の方法として、ホームページやSNS、「広報あばしり」等の紙面を活用したり、網走川沿いを利用している団体に呼び掛けることも考えられる。
- ・「網走かわまちづくり」について何も知られていない状況なので、周知も兼ねて整備内容も含めた形でネーミングを公募するのがよいと思う。
- ・市民に知られていない施設のネーミングを公募しても全く出てこないと思うので、公募するなどのPRが必要になってくると思う。
- ・「網走かわまちづくり」を認知してもらうための仮称は必要であり、周知する仮称は「網走かわまちづくり検討会」で決定し、活用状況を見極めた上で公募により最終的なネーミングをすることよいと思う。
- ・「網走かわまちづくり」の経緯や現在の取り組みをわかりやすく説明して、最終的なネーミングを募集して選考し決定してよいと思う。
- ・クジラ船が撤去されて、網走橋下流が今後どのように整備されていくのかという期待感があるので、「網走かわまちづくり」の全体像や個別整備メニューを示した上で、散策路についてネーミングするのがよいと思う。
- ・例えば「網走川フットパス」としてネーミングを募集し、案内看板ではとりあえず空白にして決定後に記載することでもよいと思う。

- ・「網走川フットパス」といったように網走川をキーワードとした仮称で周知し、ある程度認知されてから正式なネーミングを公募した方がより親しみやすいネーミングになると思う。
- ・公募するまで仮称とした場合、そのままネーミングとして定着することも考えられる。
- ・ネーミングの公募時期は、中央橋ボックスカルバートが完成予定の平成 34 年度以降でよいと思う。
- ・今後の方向性として、「網走川散策路」を仮称とし、正式なネーミングは網走橋完成後に公募するものとして、「網走かわまちづくり」を周知していく。

(5) 網走湖周辺を含めた全体利活用構想の検討

「網走かわまちづくり」に関連する網走湖周辺の利活用構想、ハード施策案について、事務局(網走開建)から説明を行った後意見交換を行い、委員から以下の発言があった。

- ・網走川の河口から網走湖までの動線については、国道 39 号線の歩道を一部通ることになるので、何かしらの整備は必要だと思う。
- ・国道 39 号線から呼人浦キャンプ場や呼人浦水質観測所へは、国道 39 号線から直角に曲がらないとアクセスできないので、国道 39 号線の歩道から緩やかにすり付く動線があればよいと思う。
- ・国道 39 号線の歩道からの動線については、道路の護岸が構造的に厳しいところがある。
- ・呼人浦水質観測所のところに「湖の駅」を設置し、網走川河口の「道の駅」と「湖の駅」を網走川が繋ぐストーリー性を持って、何らかの展開が図れればと思う。
- ・散策路の範囲を指定しないと延々と大空町まで行く人が出てくるかもしれないので、散策路の最終地点を「湖の駅」にするのもありだと思う。
- ・呼人浦水質観測所のところは、目の前がワカサギ釣り会場なので冬場の利用価値が高く、呼人浦キャンプ場にも近いので、夏場のサイクリング・ランニングの拠点になったり舟を渡すこともできるのではないかと思う。
- ・「道の駅」から呼人浦水質観測所までは約 8~9km 距離があるので、往復すればランニングコースとしてハーフマラソンくらいの距離になる。
- ・呼人浦水質観測所のところは少し低くなっていて、夏場は木が生い茂って国道 39 号線から見えづらくなっているが、網走湖に佇んでいる感があって「道の駅」と違った雰囲気逆で良いかもしれない。
- ・「湖の駅」が整備されるのであれば、浸水しないように地盤を高くする必要があると思う。
- ・呼人浦水質観測所のところに、船やレスキュー艇が乗り入れられるような斜路と棧橋が整備されればと思う。
- ・呼人浦キャンプ場の低水護岸のところに岩場があって、ウィンドサーファーが歩いたり立つことができないので、平らにして浅瀬を作ってもらえると水辺にアクセスできる。
- ・呼人浦キャンプ場が浸水しないように地盤を高くできないか。
- ・国道 39 号線の歩道で観光客が転んでいるシーンを時々見かけるが、歩道が意外と狭いので、冬場利用する際に心配だ。
- ・網走橋を渡って大曲湖畔園地を通り桜づつみにアクセスできる橋があってもよいと思う。
- ・国道 39 号線に自転車走行のためのブルーラインや自転車のマークがあれば、分かりやすい。

- ・平成 31 年度に網走橋ボックスカルバートが完成して、平成 32 年度に供用開始になるが、散策路はジョギング・ランニング・サイクリング等の夏場の利用をイメージしている。
- ・網走橋ボックスカルバート自体は冬場に対応できる構造になっているが、既設の遊歩道は除雪に対応できる基礎路盤構成になっておらず冬場は除雪できないので、冬場は運用を行わず、安全面を考慮してボックスカルバート出入口に冬場通行禁止の看板を設置することで考えている。
- ・中央橋右岸の階段工は冬場通行禁止になっている。
- ・網走橋ボックスカルバートが完成してみないとどれだけ雪の吹込みがあるのかわからないが、冬場に子どもがボックスカルバートの中で遊んで雪で閉じ込められる事故が起こりうると思うので、危機管理の面で、看板の設置がよいのか完全に封鎖した方がよいのか検討する必要があると思う。
- ・冬場も網走川左右岸を散策路として利用する場合、除雪対応の基礎路盤構成に改修するために莫大な予算が必要となる。既設の他区間もすべて含めた改修を行う必要があるので、現実的に難しい。

3. 閉会

以上